

3.2 社会的状況

3.2.1 人口及び産業の状況

(1) 人口

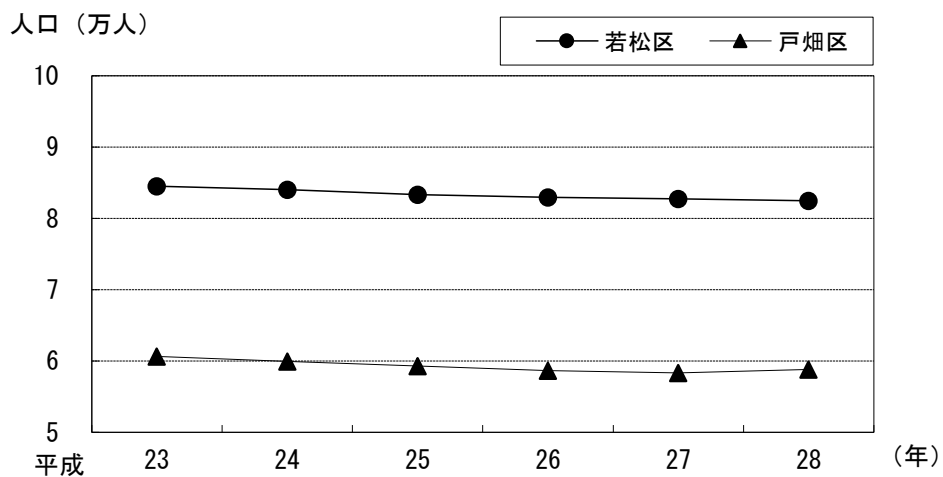
平成 28 年 12 月 1 日現在の若松区の人口、世帯数は北九州市全体の 9%、8%を占めており、人口密度は市平均の 0.6 倍である。戸畑区の人口、世帯数は市全体の 6%、7%を占め、人口密度は 1.8 倍である（表 3-32）。若松区と戸畑区の人口の推移（図 3-29）をみると、わずかに減少している。

表 3-32 人口、世帯数及び人口密度

項 目	北九州市		
		若松区	戸畑区
人 口（人）	955,967	82,209 (9%)	58,725 (6%)
世帯数（世帯）	427,823	33,835 (8%)	27,894 (7%)
人口密度（人/km ² ）	1,943	1,153 (0.6 倍)	3,536 (1.8 倍)

備考）平成 28 年 12 月 1 日現在の推計値を表示。

[資料：北九州市ホームページ「推計人口、及び推計人口異動状況」
（北九州市総務企画局政策部企画課、平成 29 年 1 月取得）]



[資料：北九州市ホームページ「推計人口、及び推計人口異動状況」
（北九州市総務企画局政策部企画課、平成 29 年 1 月取得）]

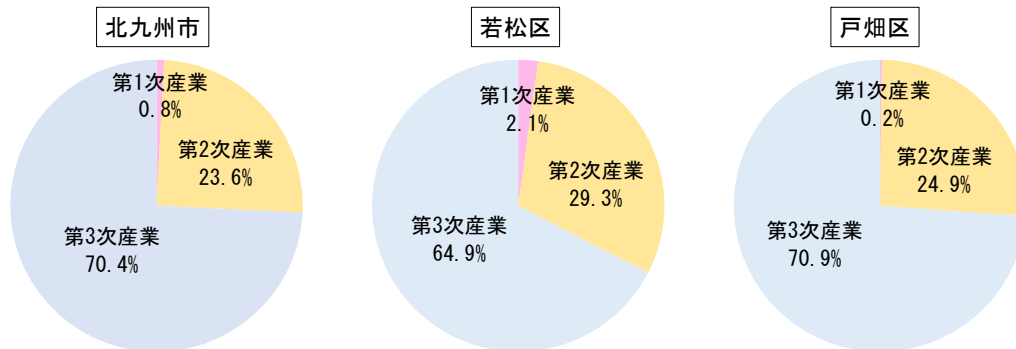
各年の 4 月 1 日の推計人口より作成]

図 3-29 人口の推移

(2) 産業

1) 産業構造

調査対象地域における産業別就業者数の割合を図 3-30 に示す。若松区、戸畑区は、ともに第 3 次産業の就業者の割合が最も多く、約 7 割を占めている。



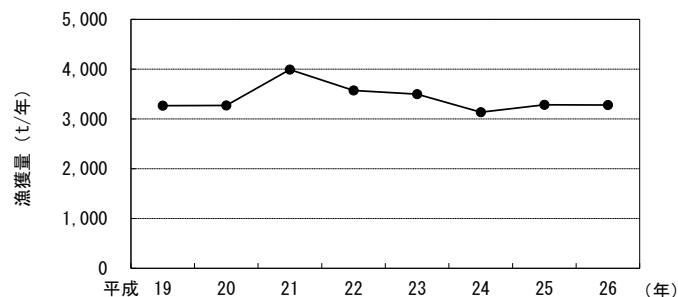
備考) 平成 22 年 10 月 1 日現在の就業者数に占める産業（大分類）別就業者の割合を示す。

[資料: 「国勢調査」(総務省ホームページ、平成 29 年 1 月取得) より作成]

図 3-30 産業別就業者数の割合

2) 水産業の状況

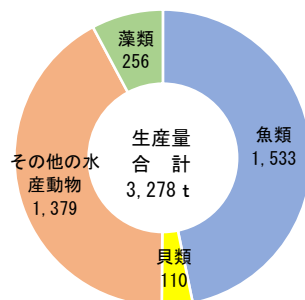
北九州市の漁獲量の推移を図 3-31 に示す。漁獲量は、平成 21 年に一時的に増加しているが、それ以外は大きな変化はみられない。また、調査対象地域の海域は、筑前海区にあたり、平成 26 年の漁業生産量は 3,278 t であり、魚類が主となっている(図 3-32)。



[資料: 「第 55~62 次福岡農林水産統計年報」

(農林水産省、平成 19~28 年 3 月) より作成]

図 3-31 北九州市の漁獲量の推移(海面漁業)



[資料: 「第 62 次福岡農林水産統計年報」

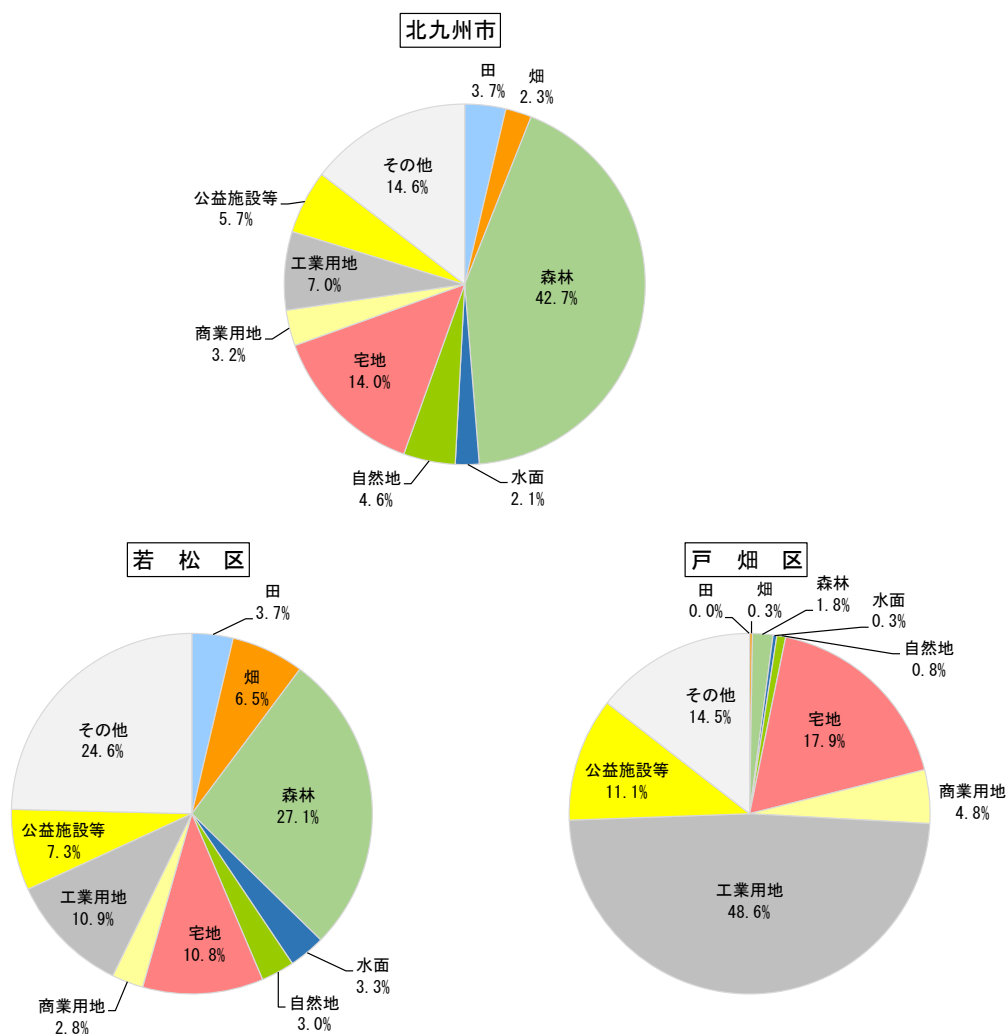
(農林水産省、平成 28 年 3 月) より作成]

図 3-32 北九州市の魚種別漁獲生産量(海面漁業、平成 26 年)

3.2.2 土地利用の状況

(1) 土地利用状況

北九州市と若松区及び戸畑区の土地利用状況を図 3-33 に示す。戸畑区は工業用地の割合が約 5 割と多く、若松区も市全域と比べると工業用地の割合が若干多い特徴がある。



備考) データは平成 23 年 3 月末現在のものである。

[資料：北九州市ホームページ「北九州市統計年鑑」(平成 29 年 1 月取得)より作成]

図 3-33 土地利用状況

(2) 土地利用規制状況

「都市計画法」に基づく北九州市の都市計画区域は、藍島、馬島等の離島を除く北九州市全域を対象に 48,865ha が指定されており、平成 27 年 3 月現在、市街化区域 20,435ha、市街化調整区域 28,430ha となっている。

調査対象地域における都市計画区域の用途地域の指定状況を図 3-34 に示す。事業実施区域は工業専用地域及び準工業地域である。

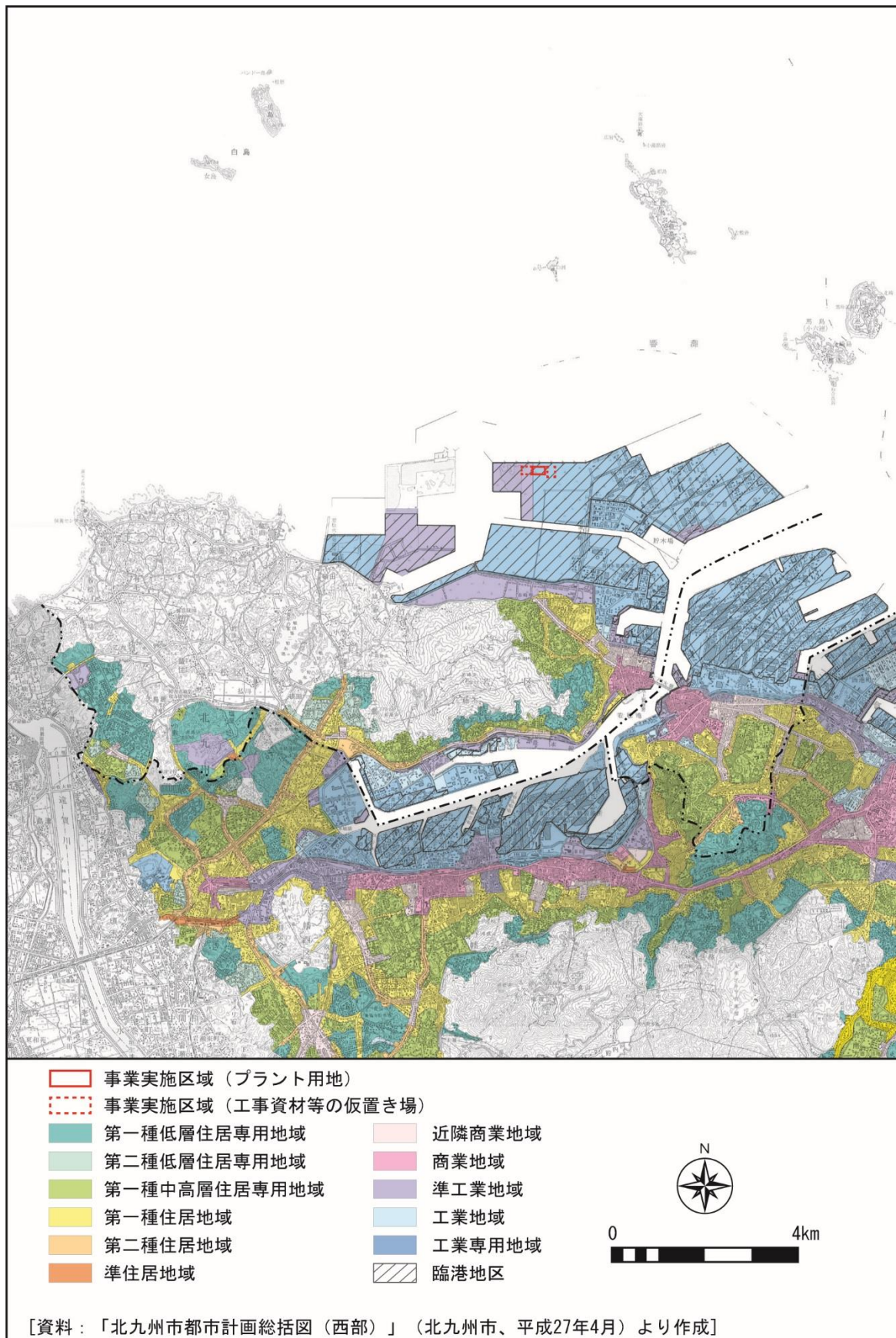


図 3-34 都市計画区域

3.2.3 水域利用の状況

(1) 水域利用状況

調査対象地域における水域利用状況を図 3-35 に示す。調査対象地域の前面の海域は、北九州港港湾区域である。水域施設としては、響灘航路、安瀬航路、奥洞海航路、若松航路、戸畑航路、堺川航路、関門航路の 7 航路があり、それぞれに泊地が存在する。事業実施区域の南側の水域には泊地があり、若松航路につながっている。

また、調査対象地域の海域では、小型底曳網漁業、刺網漁業、釣り漁業、小型定置網漁業、かご漁業、採貝藻漁業が営まれている。事業実施区域の東側の海域では、小型底曳網漁業、釣り漁業等が行われている。

(2) 漁業権の設定状況

調査対象地域における漁業権の設定状況を図 3-36、表 3-33、表 3-34 に示す。調査対象地域の海域には、共同漁業権及び区画漁業権が設定されている。事業実施区域の近傍海域には、共同漁業権が設定されており、えむし、なまこ、しゃこ等の漁業が行われている。区画漁業権は、事業実施区域から約 5km 離れた馬島において、わかめの養殖が行われており、事業実施区域の近傍海域での設定はない。

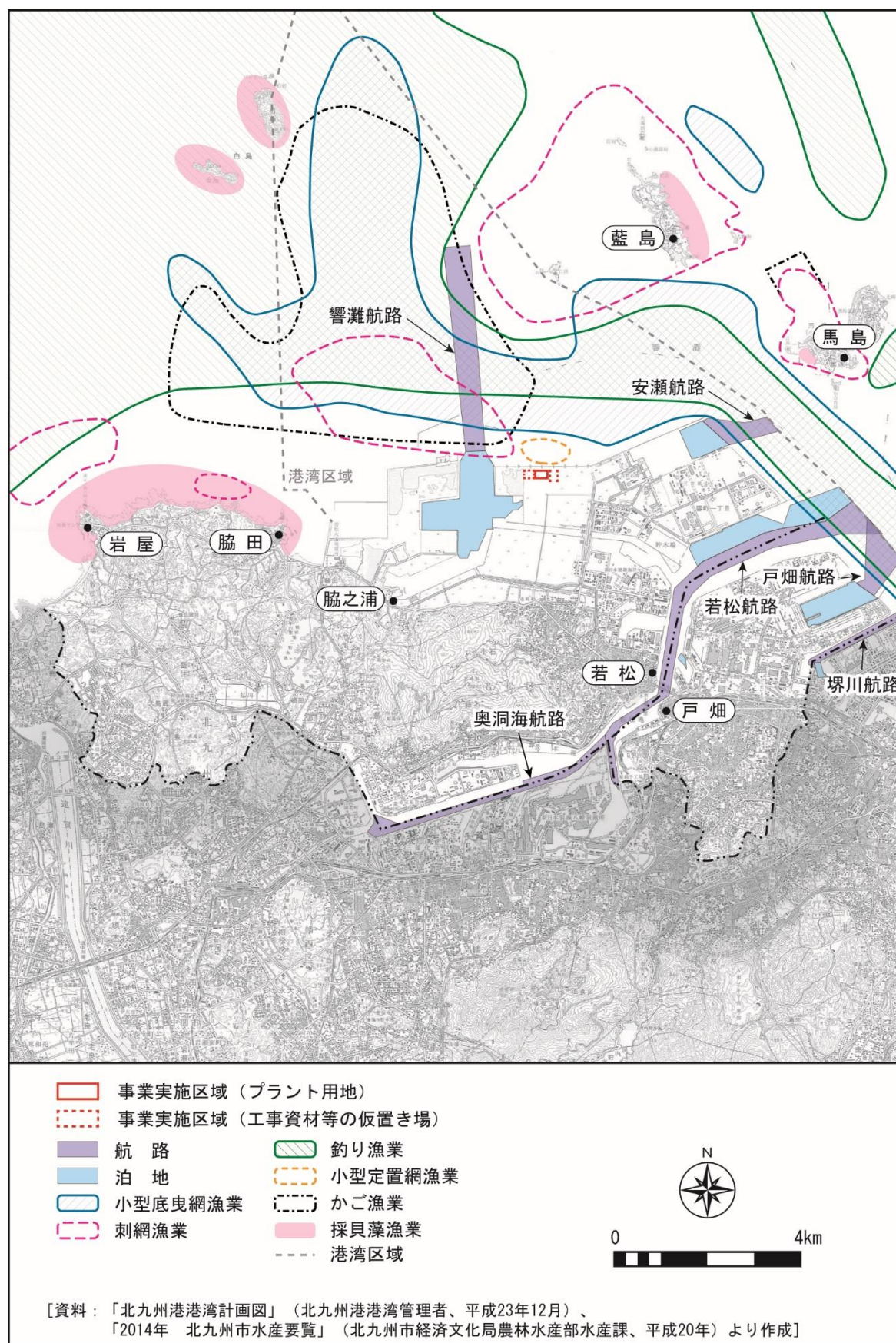


図 3-35 水域利用状況

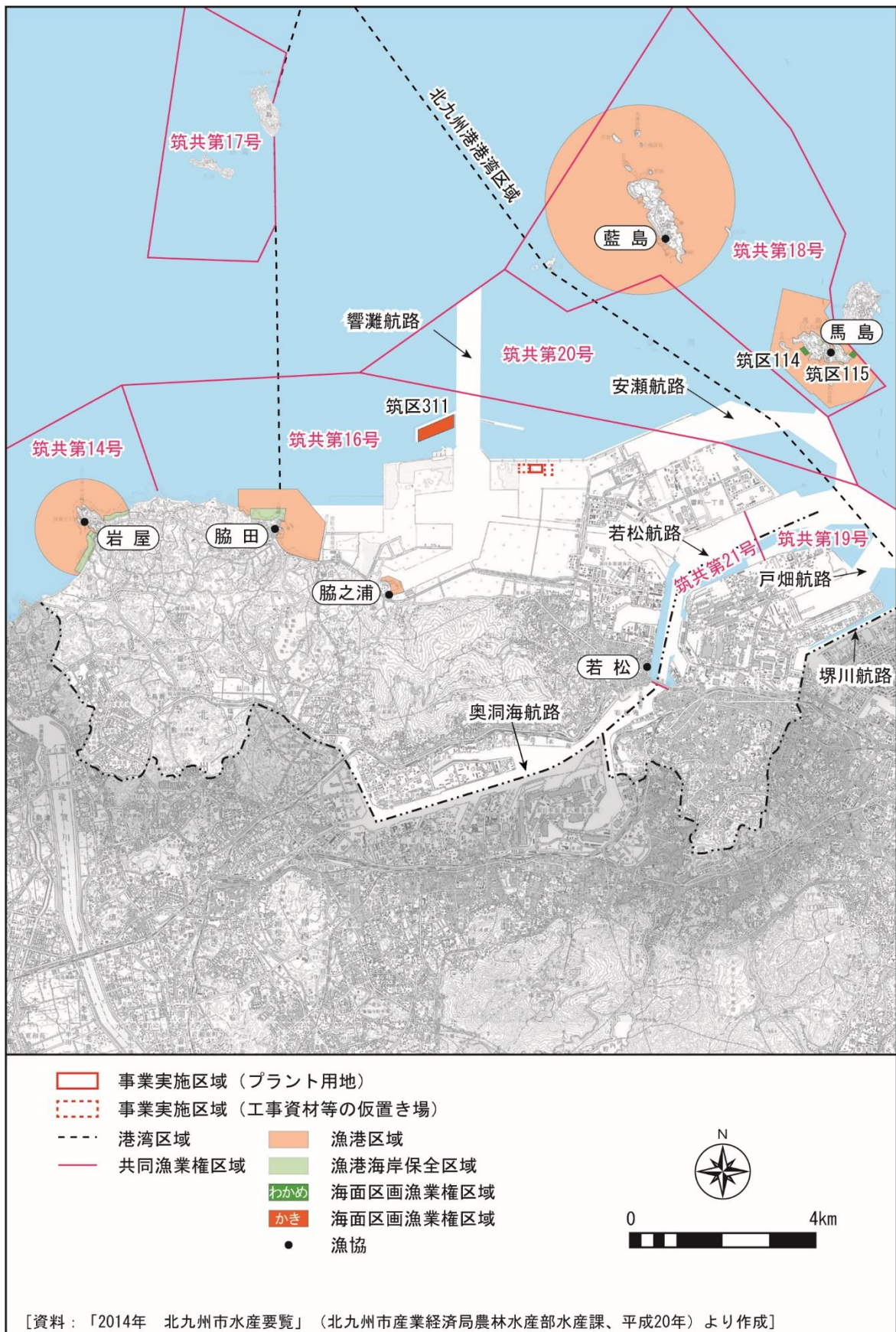


図 3-36 漁業権等の設定状況

表 3-33 第一種共同漁業権の内容

免許番号	漁業権者（漁業協同組合支所）	漁業の名称
筑共 14 号	遠賀漁業協同組合 ひびき灘漁業協同組合（岩屋）	えむし、なまこ、しゃこ、たこ、うに、あわび、 とこぶし、びな、さざえ、うみにな、ばい、 てんぐにし、いがい、たいらぎ、かき、あさり、 はまぐり、ばかがい、なみのこがい、こたまがい、 あおのり、ふともずく、もずく、あらめ、くろめ、 わかめ、ひじき、あまのり、てんぐさ、むかでのり、 ふのり、おごのり、いぎす、えごのり、あかもく
筑共 16 号	北九州市漁業協同組合（脇之浦、若松） ひびき灘漁業協同組合（脇田）	えむし、なまこ、いせえび、たこ、うに、あわび、 とこぶし、びな、さざえ、あかにし、ばい、 てんぐにし、あかがい、いがい、たいらぎ、かき、 あさり、うちむらさき、ばかがい、ふともずく、 もずく、あらめ、くろめ、わかめ、ひじき、 あまのり、てんぐさ、ふのり、えごのり、あかもく
筑共 17 号	北九州市漁業協同組合（脇之浦） ひびき灘漁業協同組合（脇田）	なまこ、たこ、うに、あわび、とこぶし、びな、 さざえ、ばい、いがい、ふともずく、もずく、 あらめ、くろめ、わかめ、ひじき、あまのり、 てんぐさ、ふのり、えごのり、あかもく
筑共 18 号	北九州市漁業協同組合 （平松、長浜、馬島、大里、旧門司） ひびき灘漁業協同組合（藍島）	えむし、なまこ、いせえび、しゃこ、たこ、うに、 あわび、とこぶし、びな、さざえ、うみにな、 あかにし、ばい、てんぐにし、いがい、かき、 あさり、ふともずく、あらめ、くろめ、わかめ、 ひじき、あまのり、てんぐさ、あかもく
筑共 19 号	北九州市漁業協同組合 （平松、長浜、馬島、大里、旧門司） ひびき灘漁業協同組合（藍島）	えむし、なまこ、しゃこ、たこ、うに、あわび、 とこぶし、びな、さざえ、うみにな、ばい、 あかがい、かき、あさり、ふともずく、もずく、 あらめ、くろめ、わかめ、ひじき、てんぐさ、 あかもく
筑共 20 号	北九州市漁業協同組合 （平松、長浜、馬島、大里、旧門司、脇之浦、若松） ひびき灘漁業協同組合（脇田、藍島）	なまこ、しゃこ、たこ、うに、あわび、さざえ、 ばい、てんぐにし、あさり、わかめ、てんぐさ、 あかもく
筑共 21 号	北九州市漁業協同組合（脇之浦、若松）	えむし、なまこ、しゃこ、たこ、うに、あわび、 びな、さざえ、うみにな、ばい、たいらぎ、あさり、 あらめ、くろめ、わかめ、あかもく

[資料：「共同漁業権免許内容」（福岡県水産局漁業管理課、平成 25 年）]

表 3-34 第二種共同漁業権の内容

免許番号	漁業権者（漁業協同組合支所）	漁業の名称
筑共 14 号	遠賀漁業協同組合 ひびき灘漁業協同組合（岩屋）	雑魚柵網、いか曲建網、さわら曲建網、雑魚曲建網、 雑魚落網、固定式刺網、あなごうけ、雑魚かご
筑共 16 号	北九州市漁業協同組合（脇之浦、若松） ひびき灘漁業協同組合（脇田）	雑魚柵網、雑魚曲建網、雑魚大某網、固定式刺網、 あなごうけ、雑魚かご
筑共 17 号	北九州市漁業協同組合（脇之浦） ひびき灘漁業協同組合（脇田）	雑魚曲建網、固定式刺網、あなごうけ、雑魚かご
筑共 18 号	北九州市漁業協同組合 （平松、長浜、馬島、大里、旧門司） ひびき灘漁業協同組合（藍島）	雑魚柵網、雑魚曲建網、雑魚大某網、固定式刺網、 あなごうけ、雑魚かご
筑共 19 号	北九州市漁業協同組合 （平松、長浜、馬島、大里、旧門司） ひびき灘漁業協同組合（藍島）	雑魚曲建網、固定式刺網、あなごうけ、雑魚かご
筑共 20 号	北九州市漁業協同組合 （平松、長浜、馬島、大里、旧門司、脇之浦、若松） ひびき灘漁業協同組合（脇田、藍島）	固定式刺網、あなごうけ、雑魚かご
筑共 21 号	北九州市漁業協同組合（脇之浦、若松）	固定式刺網、あなごうけ、雑魚かご

[資料：「共同漁業権免許内容」（福岡県水産局漁業管理課、平成 25 年）]

(3) 水源利用

1) 上水

北九州市の上水道の供給能力を表 3-35 に、上水道施設の系統図を図 3-37 に示す。北九州市の上水道の水源は、油木貯水池、耶馬溪貯水池、ます淵貯水池、畑貯水池等の計 10 箇所である。

事業実施区域が位置する響町は、上水道の給水区域となっており、本城浄水場から上水が供給されている。

表 3-35 北九州市の上水道の供給能力

水系別	水源地名	水源の種別	取水量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	浄水場名	供給能力 ($\text{m}^3/\text{日}$)
今川水系	油木貯水池	ダム貯水	106,000	井手浦	255,200
山国川水系	耶馬溪貯水池	ダム貯水（放流水）	59,000		
紫川水系	ます淵貯水池	ダム貯水	90,200		
	葛牧水源地	伏流水及び一部表流水	41,000		41,000
	道原貯水池	ダム貯水	7,800	道原	7,800
遠賀川水系	畑貯水池	ダム貯水	24,000	畑	24,000
	力丸貯水池	ダム貯水	72,000	穴生	300,000
	中間取水場	表流水	69,000		
	伊佐座取水場 (頓田貯水池)	表流水及び一部ダム貯水	159,000	本城	141,000
			70,000		
	遠賀川河口堰	ダム貯水	71,000		
計			769,000		769,000

[資料：「平成 27 年度 水道・工業用水道・下水道 事業年報」（北九州市上下水道局）より作成]

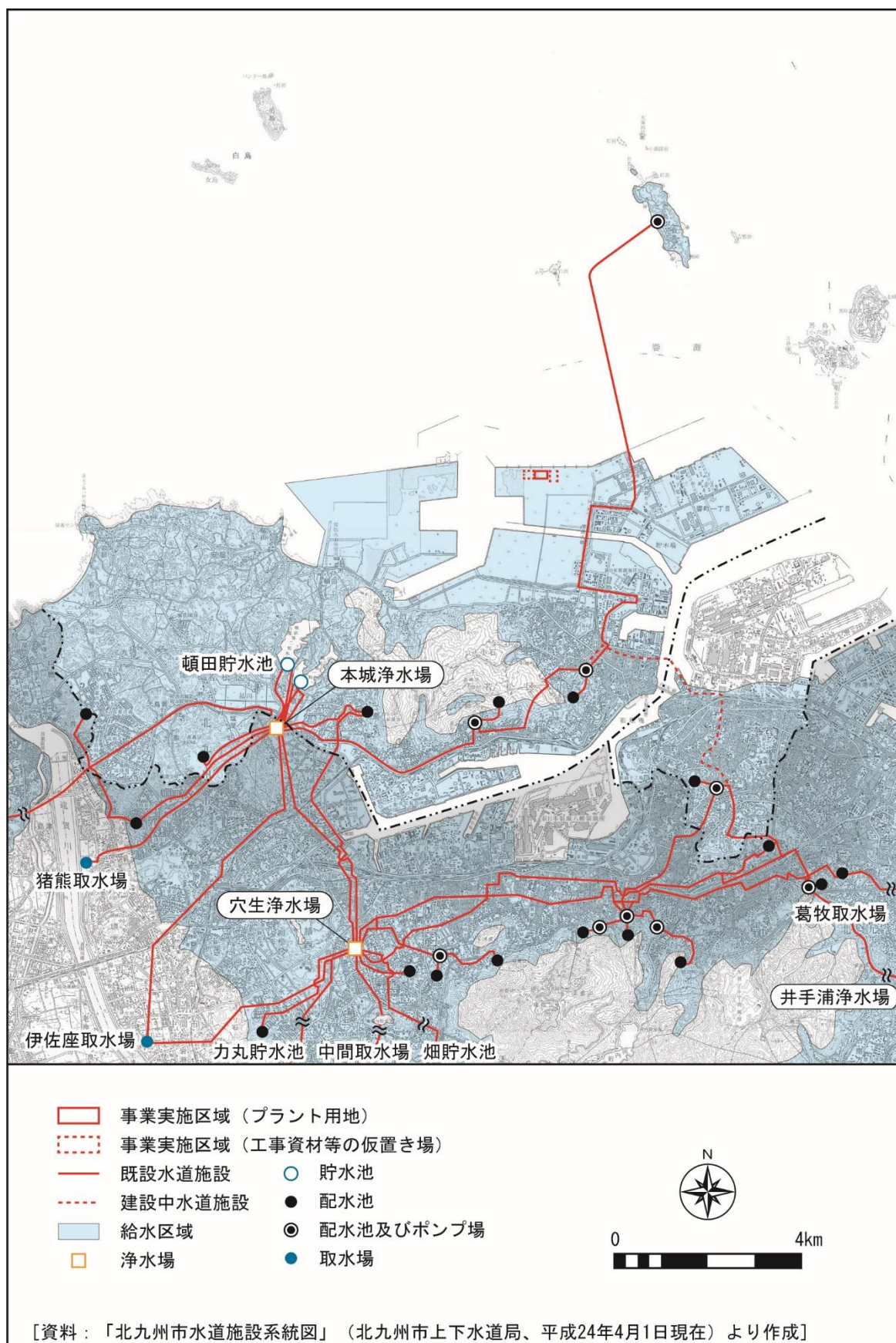


図 3-37 上水道施設の系統図

2) 工業用水

北九州市の工業用水の供給能力を表 3-36 に、工業用水道施設の系統図を図 3-38 に示す。北九州市の工業用水道の水源は、伊佐座取水場、力丸貯水池、遠賀川河口堰の 3 箇所である。

事業実施区域は、工業用水の給水区域であり、本城浄水場から伊佐座取水場を水源とした工業用水が給水されている。

表 3-36 北九州市の工業用水の供給能力

名称・系統（旧事業名）		水源地名	取水量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	浄水場名	供給能力 ($\text{m}^3/\text{日}$)
北九州市工業用水道事業	一次系 (第一次工業用水道布設事業)	伊佐座取水場 (頓田貯水池)	70,000	本城	70,000
	二次系 (第二次工業用水道布設事業)		69,100	伊佐座	112,000
		力丸貯水池	42,900	—	
	三次系 (第三次工業用水道布設事業)	遠賀川河口堰	47,000	本城	72,000
	産炭系 (産炭地域小水系用水開発事業)		25,000		
計			254,000		254,000

[資料：「平成 27 年度 水道・工業用水道・下水道 事業年報」（北九州市上下水道局）より作成]

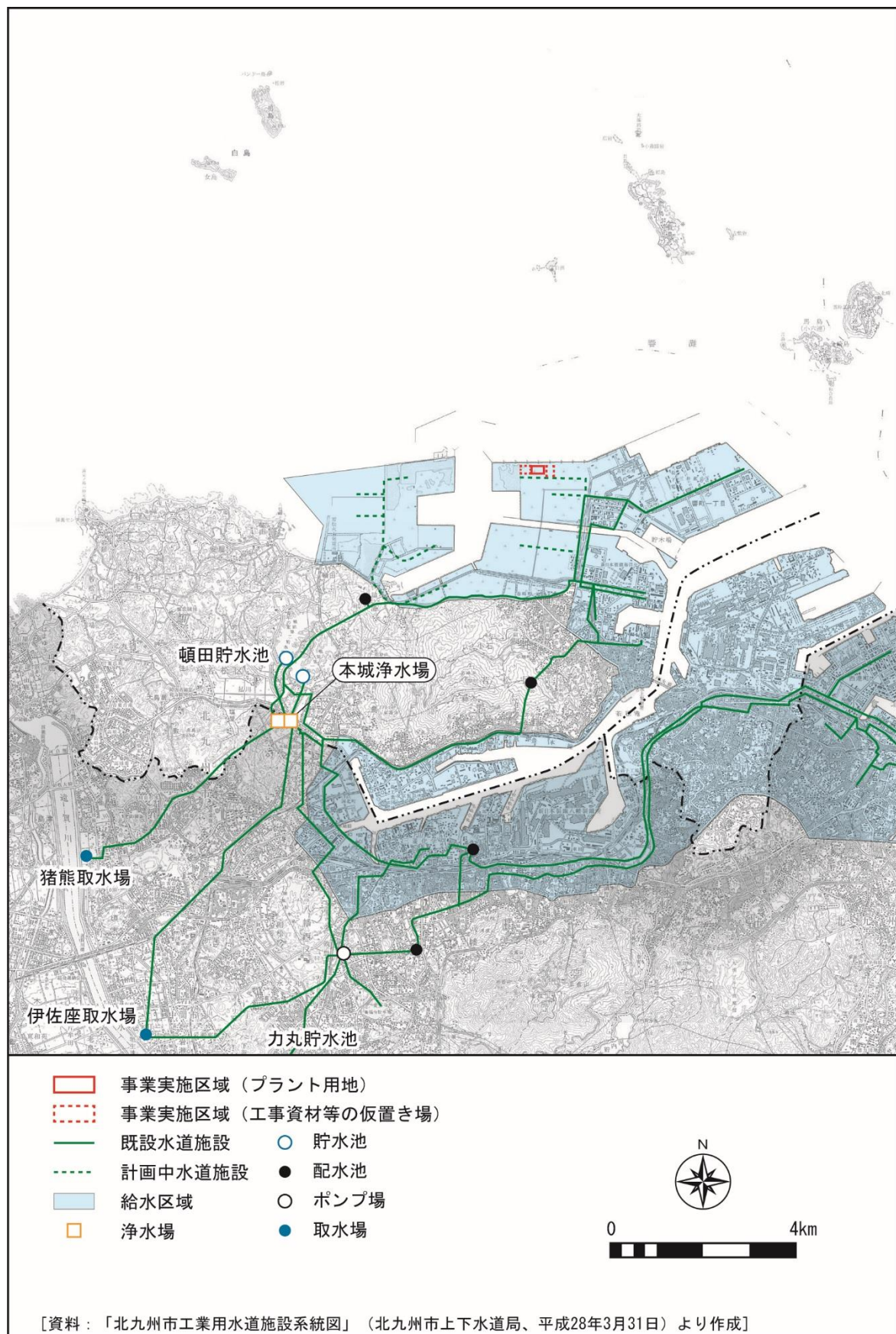


図 3-38 工業用水道施設の系統図

3.2.4 交通の状況

(1) 陸上交通

調査対象地域における主要な道路を図 3-39 に示す。調査対象地域には、若松区を東西に走る一般国道 495 号、一般国道 199 号及び本町小竹 1 号線、若戸大橋を隔てて戸畑区を東西に走る一般国道 199 号、八幡戸畑線がある。平成 22 年度における主要な道路の自動車交通量を表 3-37 に示す。事業実施区域に最も近い一般国道 495 号の 12 時間交通量は、②地点で 18,677 台(大型車混入率 17.9%)、④地点で 9,779 台(大型車混入率 27.4%)であり、2 地点の交通量の伸び率はそれぞれ 1.1 倍、0.9 倍となっている。

表 3-37 主要な道路の自動車交通量（平成 22 年度）

No.	路 線 名	自動車交通量 (台/12h)	大型車混入率※ (%)	交通量伸び率 (H22/H17)
①	一般国道 495 号	2,921	15.2	0.9
②	一般国道 495 号	18,677	17.9	1.1
③	北九州芦屋線	15,391	8.9	0.8
④	一般国道 495 号	9,779	27.4	0.9
⑤	本町小竹 1 号線	15,967	7.6	1.0
⑥	一般国道 199 号	27,382	7.6	0.9
⑦	一般国道 495 号	6,043	38.3	0.8
⑧	一般国道 199 号 (若戸大橋)	37,384	15.1	1.0
⑨	一般国道 199 号	20,059	23.8	1.0
⑩	八幡戸畑線	23,018	12.2	1.0
⑪	下到津戸畑線	12,060	8.2	0.7

備考) 表中の数値は平日午前 7 時から午後 7 時までの 12 時間観測値に基づく。

※自動車交通量に対する大型車(バス、普通貨物車、特種)交通量の割合を百分率で示したもの。

[資料:「平成 22 年度 道路交通センサス」 (国土交通省、平成 24 年度) より作成]

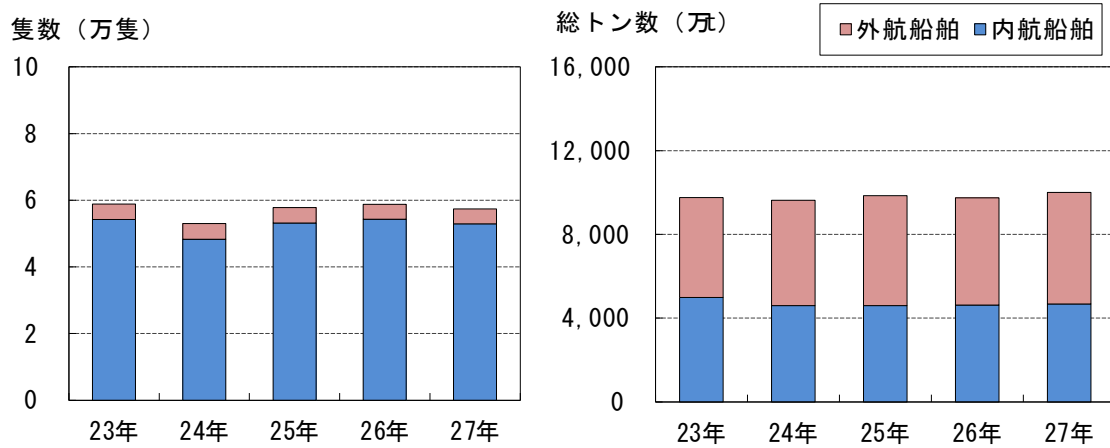


図 3-39 主要な道路及び自動車交通量調査地点

(2) 海上交通

北九州港は北九州都市圏の産業、経済の基盤として、また西日本における貿易の拠点として位置づけられている。

北九州港の過去 5 年間の外航・内航船舶の入港船舶隻数・総トン数を図 3-40 に示す。入港船舶隻数、総トン数は、ともにほぼ横ばいで推移している。



[資料：「平成 27 年 北九州港港湾統計概要（確定値）について」]

（北九州市港湾空港局ホームページ、平成 29 年 1 月取得）より作成]

図 3-40 北九州港の入港船舶隻数・総トン数

3.2.5 環境の保全の配慮が特に必要な施設の配置及び住宅の配置の状況

調査対象地域の教育施設を表 3-38 に、病院及び社会福祉施設の数を表 3-39 に、教育施設、病院及び住宅地等の分布状況を図 3-41 に示す。

事業実施区域から 2km 以内には、教育施設、病院及び住宅地等は存在しない。

表 3-38 教育施設の数

項 目 地 域	幼稚園※	小学校	中学校	高等学校	大学・ 短期大学	特別支援 学校	その他
北九州市	99	135	72	38	15	11	43
若松区	12	14	6	3	2	1	0
戸畑区	5	9	5	5	1	1	4

※休園中の 6 園を除く。

[資料：「教育要覧 2015」（北九州市教育委員会、平成 27 年 9 月）より作成]

表 3-39 病院及び社会福祉施設の数

項 目 地 域	病 院	老人福祉施設	障害者施設	児童福祉施設
北九州市	90	109	232	188
若松区	5	13	25	19
戸畑区	4	13	20	11

[資料：「北九州市統計年鑑」（総務企画局政策部企画課、平成 26 年度）より作成]

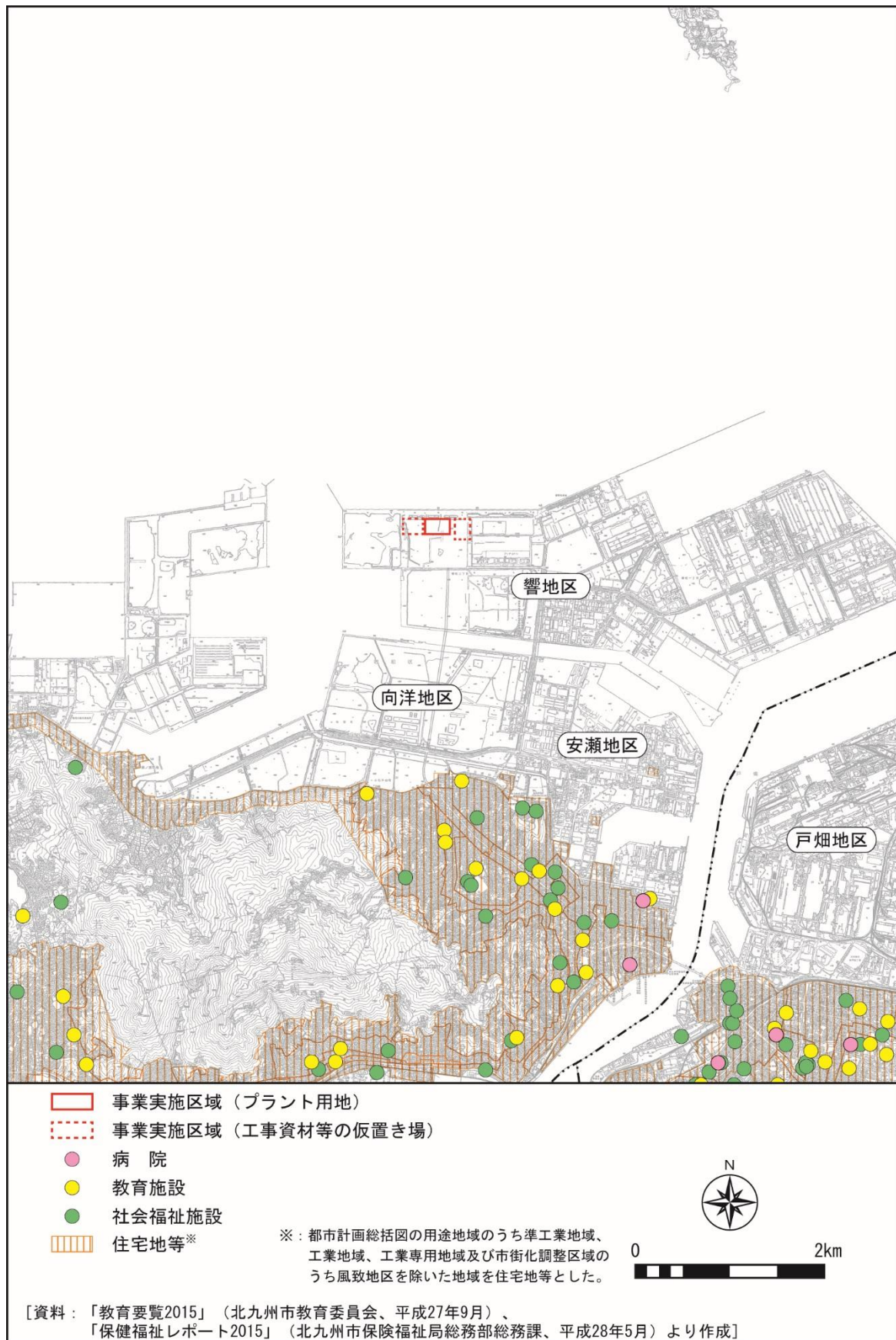


図 3-41 教育施設、病院及び住宅地等の分布状況

3.2.6 下水道の整備の状況

調査対象地域の下水道の普及状況を表 3-40 に、下水道の整備状況を図 3-42 に示す。平成 26 年度末の下水道普及率は北九州市全域で 99.8%、若松区で 98.5%、戸畑区で 100.0%である。調査対象地域は、北湊処理区と日明処理区にあり、管渠はそれぞれ北湊浄化センターと日明浄化センターに接続されている。

事業実施区域は全体計画区域内にあるものの、平成 26 年度末現在、下水道の整備はされていない。

表 3-40 下水道の普及率

行政区	行政区域内人口 (人)	処理区域内人口 (人)	普及率 (%)
北九州市	971,795	969,477	99.8
若松区	85,297	83,993	98.5
戸畑区	59,137	59,137	100.0

備考) 平成 26 年度末現在の値。

[資料: 「平成 27 年度版 北九州市上下水道局事業概要」より作成]

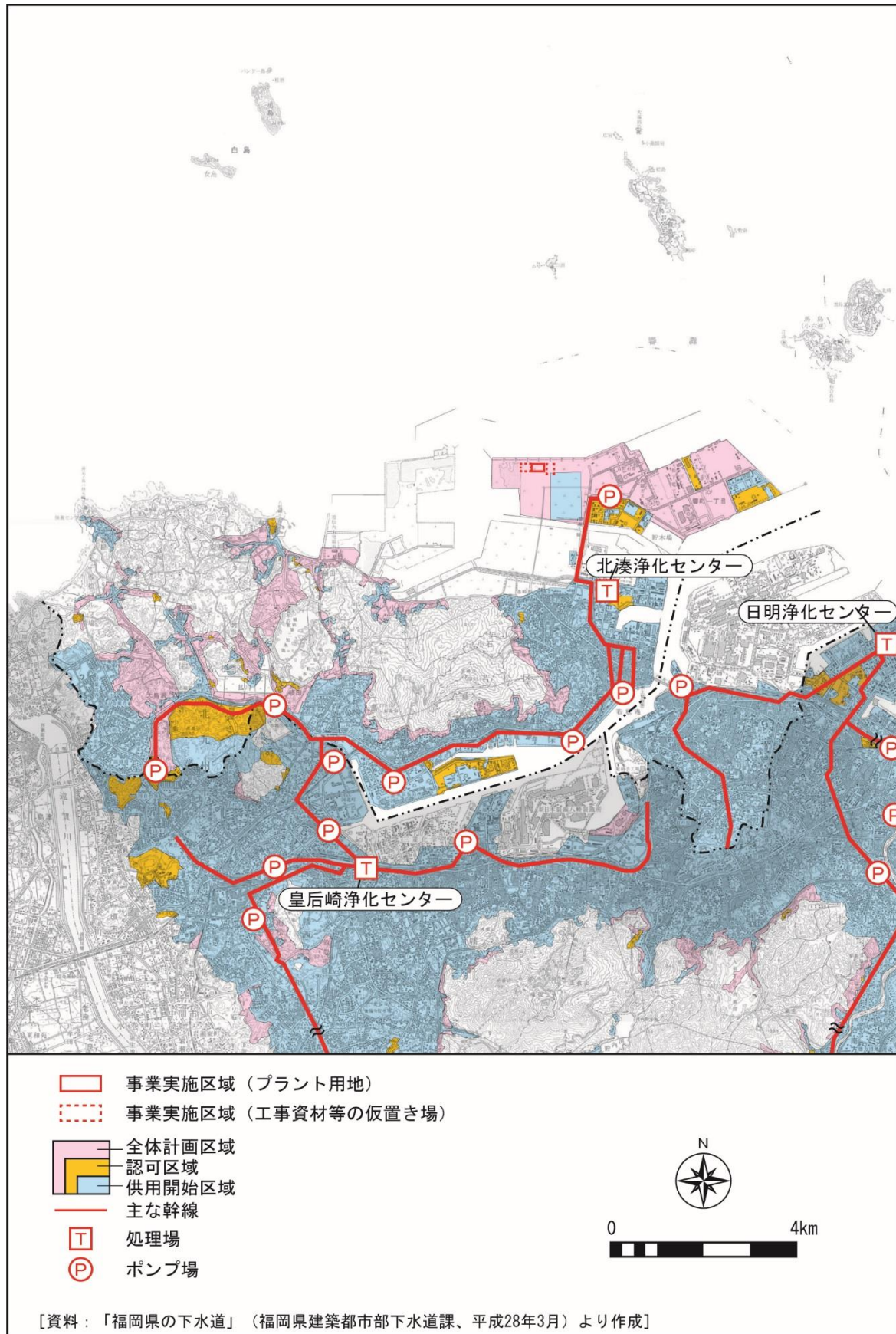


図 3-42 下水道の整備状況